

議会議員 **春山としあき**

NO. 62 2017. 6. 1. (土)

赤坂町 6 5 - 4

TEL・FAX 2 4 - 0 3 7 4

E-mail haruyama@yomogi.jp

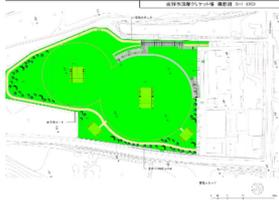
新 ホームページのアドレス

toshiaki-haruyama.net



「クリケットタウン佐野」創造プロジェクト
国際クリケット場整備5億256万円

元田沼高校施設を整備し、国際クリケット場を作り誘客を図り、その波及効果より地域経済の活性化・ブランド化を強力に進め、数年後には行政の財政支援が無くとも自走できる事業実施体制の構築を目指す。財源内訳は、国による「地方創生推進交付金」「同拠点整備交付金」の計1億4,698万円、起債が3億720万円、一般財源が4,838万円。遺跡整備に70cmの盛り土を行い、給排水・雨水対策、スタンドを設け男子グラウンド1面、女子2面のグラウンド整備等を行う。



赤見運動公園体育館内に
トレーニング室を新設！

ランニングマシンやエアロバイク、ジャズダンス等ができ、入場料金は一人1回につき300円。7月1日にオープンします。

平成34年開催の栃木国体に向け
「運動広場」改修基本構想が示される



本市は、次期国体においてバレーボールとラグビー競技の会場になります。5月11日の全協において、赤見運動公園野球場北の「運動広場」の改修整備の説明がありました。「運動広場」を国体規格のラグビー

コートとして人工芝、簡易スタンド、防球フェンス、ナイター照明、クラブハウス等を設置整備し、ラクビー、サッカーを基本に、移動式ピッチャーマウンド、バッターボックス、ベンチ等、野球ができる多目的球技場との説明であり、平成33年のプレ大会が開催できるよう完成を目指すとした。

6月議会・私の一般質問における答弁概要

1,本市は、平成30年度から41年度までの最高位の計画『第2次佐野市総合計画』に、市民や議員の声をどのように活かそうとしているかとの視点で質問をしました、以下、答弁概要です。

①(今年度で終了する)第1次総合計画は、計画どおりに事業の進展が図られていると評価している。②(今年3月に案がまとまった)「基本構想」は、長期的に見た本市が目指すべき姿を描き、「基本計画」で基本構想の実現に向けた施策の展開、「実施計画」において事業化を図り予算化することで事業を推進する三層制とした。④(総合計画における)市民参加は、地域別懇談会、まちづくりアンケート、団体との意見交換会、公募委員と佐野日本大学短期大学の学生から成る市民まちづくり会議を実施し、広く意見を頂いた。今後実施するパブリックコメントへのご意見・要望についても、計画策定に十分考慮しながら基本事業を組み立てたい。⑤議員の一般質問における意見要望等は、(第2次総合計画)前期基本計画の策定に、(第1次)前回同様十分考慮して進める。⑥(今後「基本計画」「実施計画」を策定に議員を加えることについて)執行機関としての市役所と議決機関としての議会が、ともに協力して行政を進める中で、ご指導協力をお願いしたい。

2,平成21年2月議会一般質問で、本市には7カ所、総延長約6.1kmのサイクリングルートを市民の健康維持、体力増進のため、更に観光客の誘客のために整備延伸できないか質問をし、協議するとの答弁後、3年半が経過をしましたので、協議結果について質問をしました。その概要は、「第2次総合計画に盛り込む予定は無く、市街地中心部や学校周辺の通学路等の安全性等の整備を先に進める」「今後、河川改修事業が完成後には、堤防天端上の道路が舗装されるので、国県に今まで同様市民の皆様が利用できるよう

働きかけをします」との答弁でした。

3,平成25年12月議会一般質問において、市営大橋町プールと元第2学校給食センターの総合的な有効活用について質問をし、3年半が経過をしており、検討結果について質問をしました。

その答弁概要は、現在までに具体的な活用案は決まっていないようです。このうち元第2学校給食センターは、学校跡地等活用検討委員会において検討を進め、また、市営大橋町プール跡地については、現在策定中の市有施設適正配置計画との整合性を図りつつ、庁内において検討するようです。更に、元須永邸跡地の管理については、草刈りや除草剤を散布するなど周辺の住民に迷惑がかからないよう関係部局とも協議を行い対応を考えるとの答弁でした。



平成29年度予算

一般会計465億9千万円(対前年度四千万増)

10特別会計合計327億5,660万円(同5,540万円増)

平成29年3月10日(金)に閉会になった2月定例議会では、議員提案議案1件と上程議案43件、並びに平成29年度の一般会計予算、10特別会計と2企業会計の議案の審議を行いました。平成29年度の予算案においては、予算編成の考え方として次のように説明がありました。「第一次総合計画最終年度にあたり、昨年度策定しました総合戦略を深化させ、交流人口、定住人口を増加させて、地方創生を更に加速化することを年頭に置いたもの〜」として、以下の代表事業をあげています。

①交流拠点都市の佐野を生かし、秋完成の「佐野インランドポート」による、地域産業の活性化、雇用の確保を図る。5億2,628万円。

②11月下旬開催予定の「全国山城サミット」により、佐野の魅力を発信し交流人口の増加につなげる。700万円。

③教育・子育て関係で田沼西地区小中一貫校の整備。13億8,292万円(平成32年開校)。界小の校舎の増築と改修。2億182万円。(仮称)高萩・若宮統合保育園の建設。5億5,517万円。五つの『こどもクラブ』の開設。1,361万円。

こういった事業をあげ「若い人たちに佐野での子育て環境を広くPRし、定住化へとつなげたい」としました。

☆ その他の主な、新規事業と予算

- | | |
|------------------------|---------|
| ①佐野パパプロジェクト推進事業 | 2,160万円 |
| ②出流原 PA 周辺総合物流開発整備推進事業 | 1,671万円 |
| ③日本女性会議開催(平成31)事業 | 89万円 |
| ④とちぎ結婚支援センター運営参画事業 | 15万円 |
| ⑤小規模保育事業所施設整備支援 | 1,125万円 |
| ⑥訪日ムスリムインバウンド推進事業 | 150万円 |
| ⑦都市計画マスタープラン策定事業 | 900万円 |
| ⑧(仮称)高萩中央公園整備事業 | 5,600万円 |
| ⑨特定空家等除却促進事業 | 1,000万円 |
| ⑩小学校児童フッ化物洗口事業 | 204万円 |
| ⑪小学校部活動指導者派遣事業 | 66万円 |

佐野田沼インター産業団地内 最後の区画売却成る!

産業団地内に唯一売れ残っていた大規模区画(3.9h)が、2月に売りに出され初日に愛知県岡崎市のアイスクリームやシュークリーム等を生産する乳業メーカーに7億2,420万円で売却される。

運動公園野球場と陸上競技場 有料広告物の使用料を定める



佐野市都市公園条例の改正を行い、広告物の表示の使用料を定めた。野球場においては、レフト側とライト側のネットフェンスに表示面積1㎡1日につき1,620円(税込み)を徴収、広告主にとっては、大きな宣伝効果が期待できそう。

『佐野市いきいき元気館さの』を開設

12月議会で廃止を認めた「植野デイサービスセンター」の施設跡に、高齢者の健康づくりと介護予防知識の普及と要介護状態になることを予防するための施設「佐野市いきいき元気館さの」を開設。合わせて植野町で事業を行っていた「植野高齢者はつらつセンター」事務所をこちらに移動することになった。